

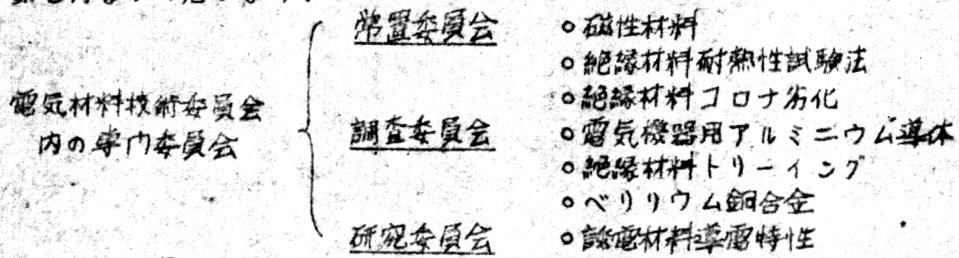
# 電気絶縁材料シンポジウムについて (序 説)

鳳 誠 三郎

(東京大学)

## 1. シンポジウム開催のいきさつ

電気学会には、技術委員会と言う調査研究組織があり、17の分野に分かれて夫々活動をして居る訳ですが、そのなかに「電気材料技術委員会」があります。この電気材料技術委員会のなかに、更に下記のような「専門委員会」があって、具体的な調査研究活動を行なって居ります。



このシンポジウムは、上記のような電気材料技術委員会のなかの絶縁関係の専門委員会を担当する委員長・幹事の諸氏並に本問題に興心の深い方々が中心となって企画されたものであります。実行委員会は次のメンバーで構成されました。

委員長：中島（電試） 委員：能登（秋田大） 金指（電試） 矢作（早大）  
幹事：田中（電中研） 伊東（電試）

## 2. シンポジウムの目的

絶縁材料に関する問題点・研究成果などについて、このテーマに興心の深い方々が一堂に会して、互に情報交換することが、この分野の研究活動・又は研究面と実用面とを結びつける上で重要な意義を持つことは言うまでもないことで、このシンポジウムの目的の第一はこれであると思われます。また所謂連合大会の枠内では、充分な討論の時間がないので、この欠点を補うことも、1つの目的であると言えましょう。

## 3. 将来への希望

今回は第1回の試みであるので、テーマを固体絶縁材料に統っても、尚且つ盛り沢山となって、討論に充分な時間が残されて居ないと懸念されます。又将来は、液体、気体、複合諸媒体の問題も挙り上げることと思いますが、要はこのようなシンポジウムが定期的且つ長期に涉って実現するように努力して誠き重いと希望致します。

このシンポジウムが企画された当时、電気材料技術委員会の委員長であった鈴木から、私が序説を申し述べることと相成りましたが、上記実行委員の方々並にこの企画に御協力御参加を戴いた諸賢に深い感謝と敬意を表明致したいと存じます。